

# 甲斐市 議会だより



甲斐市マスコットキャラクター

『二十歳の門出』

撮影場所：セレス甲府

## 今号の見どころ

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| ● 第3回臨時会            | 2ページ  |
| ● 第4回臨時会            | 3ページ  |
| ● 第4回定例会            | 4ページ  |
| ● 代表質問・ここが聞きたい一般質問  | 8ページ  |
| ● 各種団体との意見交換会・議員研修会 | 20ページ |
| ● 視察研修レポート          | 22ページ |
| ● 50号記念特集           | 24ページ |
| ● 平成29年度当初予算への要望    | 26ページ |
| ● 市民の声・議会傍聴記        | 28ページ |



KAI City



政策課題などを議論する政策研究所に任命される若手職員

補正予算		
議案名	補正額	予算の総額
平成28年度甲斐市一般会計補正予算(第3号)	△72,012	24,975,693
平成28年度甲斐市国民健康保険特別改正補正予算(第2号)	8,330	9,322,880
平成28年度甲斐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	209	623,833
平成28年度甲斐市介護保険特別会計補正予算(第1号)	2,003	4,483,761
平成28年度甲斐市介護サービス特別会計補正予算(第1号)	13	18,454
平成28年度甲斐市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	△546	120,904
平成28年度甲斐市地域し尿処理施設特別会計補正予算(第1号)	2,096	30,482
平成28年度甲斐市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	1,853	2,292,386
平成28年度甲斐市水道事業会計補正予算(第2号)	3,607	1,608,394

平成28年 第4回 臨時会議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果	議決結果																				
			11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日	11月21日		
議案第58号	甲斐市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第59号	甲斐市の市長等の給与等に関する条例の一部改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第60号	甲斐市職員給与条例の一部改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第61号	平成28年度甲斐市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第62号	平成28年度甲斐市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第63号	平成28年度甲斐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第64号	平成28年度甲斐市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第65号	平成28年度甲斐市介護サービス特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第66号	平成28年度甲斐市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第67号	平成28年度甲斐市地域し尿処理施設特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第68号	平成28年度甲斐市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第69号	平成28年度甲斐市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長(小浦宗光)は可否同数以外は採決に加わらない。

平成28年 第3回臨時会

臨時会の様子は、議会ホームページ(インターネット)で録画中継を配信していますので、ぜひ視聴ください。

新たな行政委員が決まる

平成28年第3回臨時会(10月19日)において、保坂武市長から3期当選(任期:平成28年10月3日〜)に伴う、就任のあいさつがあり、その後、任期満了に伴う教育委員会委員の任命等の議案が提出されました。

臨時会 人事

案件	名前(地区)	議決結果
教育委員会委員	中込正久(長塚)	任命
監査委員	小林春男(篠原)	選任
	望月寛一(中下条)	選任(再任)
公平委員会委員	横山善宏(牛匂)	選任(再任)
	雨宮徳夫(竜王)	選任(再任)
固定資産評価審査委員会委員	中込助雄(龍地)	選任(再任)
	保延博(島上条)	選任



市長あいさつ要旨  
県緑化センター跡地の活用と教育環境の充実の方針  
先の甲斐市長選挙におきまして、市民の皆様から信任を頂き、市長として3期目の就任ができましたことは、誠に光栄に存じますとともに、その職責の重さに一層身の引き締まる思いであります。  
8年前、市長に就任して以来、「誠実な人となれ」を信条に、常に現場に足を運び、市民の声を耳を傾け、市政に取り組みで参りました。  
今後も引き続き、私に課せられた責務の重大さを感じつつ、公正で民主的な市政運営に心がけ、全身全霊を傾注して参る所存であります。  
さて、県緑化センターの跡地につきましては、全体を購入する方向で、検討しているところであり、人が集まる交流拠点とするなど、本市のイメージアップにつながるよう、活用方法を速やかに検討したいと考えております。  
次に、教育環境の整備につきましては、子どもたちが正常な体温調節機能ができる「丈夫な身体づくり」を進める、という従来の方針に変わりはありませんが、校舎耐震化などが一段落となることや、災害時等にも備える面からも、小中学校のエアコン整備に取り組みで参りたいと考えております。  
これには、国の補助金や交付金等を有効に活用して、市の財政負担の軽減を図ることや、事業期間の短縮も含め、費用対効果の高い手法を調査研究のうえ、小中学校へ早期に整備し、本市教育環境の更なる充実を図って参ります。

平成28年 第3回 臨時会議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果	議決結果																				
			10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日		
同意第5号	教育委員会委員の任命の件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第6号	監査委員の選任の件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第7号	監査委員の選任の件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第8号	公平委員会委員の選任の件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第9号	固定資産評価審査委員会委員の選任の件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第10号	固定資産評価審査委員会委員の選任の件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第11号	固定資産評価審査委員会委員の選任の件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長(小浦宗光)は可否同数以外は採決に加わらない。

# 委員会レポート

今定例会における各常任委員会及び特別委員会での議案審査の質疑を抜粋してお伝えします。(12月7、8、9日開催)

## 総務教育常任委員会

### 消防施設整備費 29万円増

概要:日本消防協会からの「消防団学習・災害活動車」の交付に伴い、納車手続き等に関する経費の増額

Q 車両をどのように活用していくのか。

A 各地区の防災教育、防災訓練で活用していく。



### 小中学校、学校管理費 6億4,867万円増

概要:竜王北及び敷島小学校の外壁塗装や防水工事など校舎の大規模工事並びに玉幡中学校給食室の建築工事費などの増額

Q 校舎の大規模改修について、窓ガラスの飛散フィルムの施工を考えているか。

A 今回は施工しないが、課題のため、長期計画の中で対応していく。

### 議案 指定管理者の件

概要:玉幡公園総合屋内プール、敷島B&G海洋センター及び双葉B&G海洋センターの管理について、(株)フィッツを平成33年度まで指定管理者として指定するもの

Q 今後の新しい取り組みはあるか。

A 健康や体重減少に関する水泳教室を開く予定である。

## 厚生環境常任委員会

### 障害者福祉費 8万円増

概要:障がい者施策の推進に向けた検討の基礎資料とするため、在宅の障害児・者の生活実態とニーズを把握することを目的とした全国調査の経費の増

Q 甲斐市の対象地区はどこになるのか。

A 富竹新田2区、4区である。

### 保育園関係嘱託、臨時職員費 2,183万円減

概要:当初予定した一般職非常勤保育士等の雇用が無かったことによる減額

Q 応募がないのであれば、要件を見直したほうが良いのではないか。

A 保育現場の環境も変えることなど、よりよい条件で採用できるように検討している。



### 条例 甲斐市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部改正の件

Q この改正により対象者が増えるのか。

A 甲斐市内で対象となる方はいない。

## 建設経済常任委員会

### 有害鳥獣捕獲等対策費 67万円増

概要:木々の倒木により破損した鳥獣害防止柵の修繕費の増

Q 設置場所はどこか

A 神戸(ごうど)、亀沢、吉沢の3地区である。

### 議案 指定管理者の件

概要:甲斐敷島梅の里ラインガルテンの管理について、農事組合法人ゆうのう敷島を平成33年度まで指定管理者として指定するもの

Q 今後の修繕費についてどう考えているか。

A 基本協定に基づき、50万円以上の管理棟施設など、大きな修繕については、基金で対応していく。



### 条例 甲斐市中小企業・小規模企業振興基本条例の制定の件

Q 中小企業等の経営基盤の強化を図るために、何をやるのか。

A 関係機関を集め、必要な政策について意見集約を行う。

## バイオマス産業都市構想特別委員会

### 環境保全費 繰越明許費

概要:平成28年度予算で予定していた事業が年度内に完了する見込みがないことから、翌年度に繰り越すもの

Q 当初の考えていたスケジュールよりどれくらい遅れているのか。

A 約半年遅れている。

## 平成28年度一般会計補正予算(第4号)

# 竜王北小学校、敷島小学校校舎大規模改修など 一般会計補正予算を19億2,983万円増額

### 一般会計補正予算

#### おもな歳入 (財源)

市税	8,750万円
国庫支出金	2億4,119万円
県支出金	3,522万円
繰越金	10億2,065万円
諸収入	5,685万円
市債	4億7,310万円

一般会計補正予算(第4号)は、市民税、学校施設環境改善交付金、繰越金、合併特例債などを財源に、学校管理費、生活保護費、財政調整基金積立金などの補正予算が提出され、採決の結果、全会一致で可決しました。

#### おもな歳出 (使いみち)

※青字と△は減額

諸支出金	財政調整基金積立金	10億8,952万円
教育費	竜王北小学校費(大規模改修工事費等)、竜王西小学校費(学校用地購入費)、敷島小学校費(大規模改修工事費等)、玉幡中学校費(給食室改築工事費等)	6億5,011万円
民生費	生活保護費 障がい者生活支援諸費、保育園関係嘱託、臨時職員費	1億5,400万円
農林水産費	畜産振興費、地籍調査費	3,855万円
消防費	常備消防負担金、自主防災組織補助事業、消防施設整備費	1,444万円
衛生費	広域事務組合負担金	42万円
土木費	塩崎駅周辺整備事業、公園整備事業(中部公園実施設計業務委託)道路新設改良事業(長塚名取線長塚橋通学路整備に係る工事委託料)、幹線道路整備事業(新町本線道路改良事業)	△551万円
総務費	総務管理関係嘱託、臨時職員費	△1,170万円

### 条例の審査

今定例会で審査した条例を紹介します。

#### ◎甲斐市中小企業・小規模企業振興基本条例の制定の件

本市経済の一端を担っている中小企業者・小規模企業者を取り巻く環境が大きく変化するなか、中小企業者・小規模企業者の自らの努力はもちろん、地域に果たす役割やあり方について、地域社会を構成する市民や行政等の多様な主体が連携・協力し、それぞれの役割のもと、中小企業者・小規模企業者の振興に向けた基本理念を明確化し、取り組みを展開していくために制定するもの

#### ◎甲斐市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部改正の件

児童福祉法及び児童扶養手当法施行令の一部改正に伴い、引用条文の整備等所要の改正を行うもの

# 第4回定例会

平成28年

平成28年第4回定例会は、12月7日(水)から12月16日(金)まで、10日間の会期で開かれ、補正予算、条例の制定などの議案審査を行いました。  
この定例会の様子は、議会ホームページ(インターネット)で録画中継を配信していますので、ぜひご視聴ください。



### 保坂市長の政治信条は!

市長 ▶ 「誠実な人となれ」を信条に、今後も公正で民主的な市政運営に心がける所存である。



日本共産党甲斐市議団 樋泉 明広 議員

市長 消費税10%増税は延期されたが、消費税引き上げは安倍内閣の経済政策を注視していく。TPPについては、我が国の経済再生、地方再生に寄与する政策である。国には、国民の不安を払拭する十

【樋泉】消費税10%増税反対はもとより、消費税そのものを廃止すべきだが、環太平洋連携協定(TPP)は、「農林水産業」「食の安全」「知的財産権」「医療・保険」など国・地方の産業に影響する協定で離脱すべきだが、福島原発事故はいまだ収束されないし、普及費用は莫大な費用がかかる。廃炉しかないが、自衛隊員の犠牲も否定できない「駆け付け警護」の任務が付与された安保法制に反対すべきだが見解は。

【市長】来年度予算では、歳出は、経常的経費等の増加が予想され、歳入は、市税の伸びはなく普通交付税も平成32年度から一本算定の交付になることから、市民のニーズに答え、事業内容必要性、手法等を精査し的確な予算編成をする。

### 甲斐市長の2017年度予算編成の基本方針は。

【樋泉】原子力発電所推進・再稼働から、再生可能エネルギーの普及は世界の流れである。ドイツでは「原発ゼロ」に踏み出し、2015年には発電量が30%に達している。再生可能エネルギーは乱開発にならないように地球環境に配慮して推進すべきだ。再生可能エネルギーは、温室効果ガスの排出削減、地域経済の振興と



福島原発

分な議論、正確かつ丁寧な説明と情報発信するよう努めるべきである。原子力発電所廃炉は、国と事業者が技術的安全性を住民や自治体の理解と不安解消に考慮して判断する問題である。安保法制は、国際平和協力業務の自衛隊の任務が拡大された法制である。国会で、憲法の平和主義や9条の規範を損なわないよう議論をし、国民の理解を得るよう願う。

【樋泉】日本共産党甲斐市議団が、2017年度甲斐市予算編成にあたり、50項目以上の予算要求を行った。①医療・介護

【樋泉】日本共産党甲斐市議団が、2017年度甲斐市予算要求の回答は。

【生活環境部長】本市は福島原発事故による再生可能エネルギー活用が着目され、第1次総合後期計画(平成22年度末)で太陽光エネルギーの活用を位置付けた。平成24年度に甲斐市環境基本計画で、新たに「再生可能エネルギー利用推進」の項目を入れて取り組んでいる。平成25年度はバイオマス活用推進計画を、平成27年度はバイオマス産業都市構想を策定、本年度は環境基本計画の見直しを行い、第2次総合計画に沿って再生可能エネルギーの利用促進していく。木質バイオマス発電はバイオマス産業都市構想に沿った事業実施に向け努力している。



市当局への2017年度予算要求

【市長】共産党甲斐市議団から54項目の要求をいただいた。どの項目も重要な課題であり今後とも可能な項目については積極的に取り組みたい。特に、リニア中央新幹線は、日本の経済・災害に強い国土作りの社会基盤である。基金の活用は、設置目的の定めに沿い、適切に管理・運用に努める。

# 代表質問

平成28年12月 第4回定例会の会派代表質問を要約してお伝えします。なお、議会ホームページで、代表質問の録画を配信しています。

### 日本共産党甲斐市議団 9ページ

樋泉 明広 議員

- ①保坂市長の政治姿勢について
②日本共産党甲斐市議団の2017年度甲斐市予算要求について

### 公明党 10ページ

保坂 芳子 議員

- ①市長及び副市長・教育長に決意を伺う
②災害時の避難所支援の体制築け
③インフラ老朽化対策の加速化を
④中学校での模擬議会の開催を

### 甲斐市民クラブ 11ページ

齊藤 芳夫 議員

- ①保坂市政三期目の施策実現の具体策について

### 創政甲斐クラブ 12ページ

山本 今朝雄 議員

- ①第2次甲斐市総合計画について
②行政改革について
③創甲斐教育について
④公共施設等の総合管理計画について
⑤被災地支援と災害対策について
⑥ひきこもり支援策について
⑦ネーミングライツの導入について

### 颯新クラブ 13ページ

有泉 庸一郎 議員

- ①第2次甲斐市総合計画について
②子どもの貧困対策について

### 新政クラブ 14ページ

赤澤 厚 議員

- ①甲斐市政の今後の課題について

12月13日(火)

12月14日(水)

# 一般質問

ここが聞きたい!!

一般質問は、議員が議案とは関係なく、行政全般にわたり市長の考え方や市政の執行状況について説明を求めたり所見を問いただすものです。なお、議会ホームページで、一般質問の録画を配信しています。

12月14日(水)

### 小澤 重則 議員(颯新クラブ) 15ページ

- ①市長のこれまでの事業成果と今後の取り組みについて
②甲斐市福祉バスの利用について

### 三浦 進吾 議員(創政甲斐クラブ) 15ページ

- ①中央道に架かる跨道橋の安全対策について
②移住定住相談会の開催について

### 滝川 美幸 議員(甲斐市民クラブ) 16ページ

- ①子どもたちを取り巻く環境整備について
②中部横断自動車道、リニア新幹線開通と甲斐市の展望について

### 横山 洋介 議員(甲斐市民クラブ) 16ページ

- ①イベント事業について
②災害対策について

### 清水 正二 議員(颯新クラブ) 17ページ

- ①地域ブランドと遊休農地解消について
②公園整備事業と緑化推進について

### 山本 英俊 議員(創政甲斐クラブ) 17ページ

- ①公共施設の整備計画について

12月16日(金)

### 五味 武彦 議員(甲斐市民クラブ) 18ページ

- ①甲斐市版ネウボラについて
②創甲斐教育等について

### 金丸 幸司 議員(公明党) 18ページ

- ①コンビニ健診の推進で生活習慣病予防について
②買い物弱者支援について
③障がい者差別解消法について

### 松井 豊 議員(日本共産党甲斐市議団) 19ページ

- ①TPP協定の批准を断念し、地域経済の再生を
②生活弱者(老人・障がい者等)対策と子育て支援の充実を

### 金丸 寛 議員(甲斐市民クラブ) 19ページ

- ①前2期で手掛けた事業の検証
②来年度(H29)の職員体制

12月15日(木)

### 保坂市政3期目の施策実現の具体策について

市長 ▶ 「稼ぐ地域」「自治体も自ら稼ぐ」という発想で総合力を高める

甲斐市民クラブ 齊藤 芳夫 議員



**齊藤** 地方分権法成立以来、国と地方は対等の位置づけになったとされているが稼ぐ自治体としての具体的取り組みは、どのようにとお考えか。

**市長** 地方自治体の自主的、主体的事業を支援する地方創生推進交付金制度や税制優遇措置のある、企業版ふるさと納税制度など充実を図っている。又地方自治体も財政規模では、大きな経営主体であり、今後は民間経営感覚が必要であり、交付金などの財源だけでなく、PPP制度の導入など民間資金、経営ノウハウを活用するなど、積極的に取り組んで行く。

**齊藤** 今取り組んでいる、バイオマス産業都市構想も、稼ぐ自治体事業と思う内容、現況、今後の工程は、どうか伺う。

**市長** 構想の基幹事業となる発電事業の実現に向け、ふるやグループ(株) パスポート、大手ゼネコンの三社による、特別目的会社の設立に向け鋭意努力している、確定した段階で具体的内容や、スケジュールなど説明したいと考えている。

### 保坂市長及び副市長・教育長に行政運営への決意を伺う

市長 ▶ 公正で民主的な市政運営に全身全霊を傾注します

公明党 保坂 芳子 議員



**保坂** 人口減少の歯止めは

**市長** 「甲斐市に住むこと」「甲斐市民であること」を誇りに思える町づくりの実現が、定住人口の増加を見込む施策であると考えます。

**副市長** 実効性の高いサポートを行い、保坂市政を全力で支えていきます。

**教育長** 創甲斐教育の理念が市内小・中学校に浸透し、具体的施策が効果的に展開できるように最大限に努力していきます。

**災害時の指定避難所の組織作りは地元自治会が団結し運営を**

**市長** 地域防災リーダー養成講習に55自治会が参加し、職員も独自の講習を受けました。双葉西小・敷島小は自治会、学校が連携し組織作りをしています。

**保坂** 全22カ所の指定避難所で、早急に避難所運営会議を開く必要があるが。



甲斐市北部山間部荒廃里山の様子

### 木材産業の活性化と、森林環境整備について伺う。

**齊藤** 甲斐市の森林資源は生かされなければ資源にならない、産業の活性化も図れない、森林環境整備が重要と思うが。

**市長** 県では2020年東京五輪競技施設への、県産木材ブランド、FSC認証材を活用するよう働きかけている、市としても恩師林木材を活用し、木材産業が活性化するように、県と連携、協力してまいりたいと考えている。

**齊藤** 平成29年度、与党税制改正大綱では、森林環境整備に特化した新税を検討しているとの報道があったが。

**総務部長** 全避難所ができるだけ早く準備にかかれるよう、自治会・学校と連携を取ります。

**保坂** 防災会議委員に男女共同推進委員を加えては。

**総務部長** 次回の防災会議の委員委嘱時に検討します。

**保坂** エコノミー症候群が心配される車中泊対策は。

**総務部長** 避難所毎に運営マニュアルに対策を盛り込みます。また予防効果のある弾性ストッキングは今後の防災備蓄品として整備を検討します。

**保坂** 防災士の立上げは

**総務部長** 市には42名の防災士がいます。防災士の立上げは検討します。

**保坂** 小中学校の大規模改修予定時にガラスの飛散防止フィルムの施工を。

**教育部長** 双葉中と敷島北小に大規模改修の予定があり、飛散の恐れのある窓ガラスには必要な対策をします。

**緑化センター跡地に、歴史文化資料館等を設置する考えは。**

**市長** 現状有姿を残しながら、緑を生かし人が集まる交流拠点として幅広く検討している、資料館の在り方は、公施設総合管理計画の中で、広く市民の意見を聞き検討する。

**甲府西消防署の移転を考えるべきと思うが。**



水没危険地域にある甲府西消防署

**市長** 現在37府県と横浜市が独自税を導入しているため、二重課税などの理由から、反対意見が相次ぎ理解が得にくく、先送りの方針との報道もある。

**齊藤** 森林整備従事者不足が問題である、県立農林高校には林業科があるが在学生数は、木材産業界への昨年の就職者数は、どうか伺う。

**建設産業部長** 三学年合計で87人在学中、27年度卒業生28人中、9人が関連業界へ就職したとのことである。

**市長** 甲府広域消防本部では、現時点で移転計画はない、今後移転も含めた検討し要望してまいりたいと考えている。

**齊藤** 防災拠点として重要な、甲府西消防署は、洪水ハザードマップでも水没地区にあり、機能ストップの危険がある、移転計画を広域消防に働きかける考えはないか。

**市長** 甲府広域消防本部では、現時点で移転計画はない、今後移転も含めた検討し要望してまいりたいと考えている。

**齊藤** 街の活性化策の一つに、アーチェリーを目玉にの考えはどうか。

**市長** 数中で基礎を養った選手が活躍しているが、競技人口は多くない一つの競技を、玉に活性化も手段とも思うが、市民がそれぞれの志向により選んだスポーツを、後押しすることが、スポーツによる街の活性化につながると考える。

**保坂** 体育館の放送器具・体育器具・内壁・外壁・ピアノ等の危険防止は。

**教育部長** 学校と連携し点検や出来る対応をしていきます。

**保坂** AEDを使える市民パインスタンの育成を

**総務部長** 消防署で毎月第2水曜日に実施しており広く啓蒙します。

**インフラ老朽化対策の加速化を**

**市長** 平成26年度に一級、二級市道84kmの路面調査を実施しました。

**保坂** インフラ老朽化対策は、対処療法から予防保全管理へ転換を進めてはどうか。

**建設産業部長** 橋梁については進んでいるが、道路についてもその方向に進めたいと考えています。

**保坂** 緊急輸送道路の未調査区間の調査は。

**建設産業部長** 14路線が県に指定され、すでに調査され改修も済みしました。



選挙の理解を含めることをテーマにした演劇の様子 (主催:選挙管理委員会 場所:玉幡中学校)

**保坂** 測量士補、土木施工管理資格等の資格取得助成は

**建設産業部長** 資格の必要義務はないが、現場では、専門的技術や法的知識は必要で、資格取得助成については考えていません。

**保坂** 社会基礎メンテナンス エキスパート養成は。

**建設産業部長** 県の動向を注視し対応していきます。

**中学校での模擬議会の開催を**

**教育長** 主権者教育を進めるために、学校現場では、政治や選挙に関する学習は学習指導要領に基づいて行っており、模擬議会の取り組みは市内中学校と検証し、今後の検討課題といたします。

## 第2次甲斐市総合計画について

市長 ▶ 第1次の将来像を引き継ぎ政策・施策に取り組む。

颯新クラブ 有泉 庸一郎 議員



甲斐市 PR ラッピングバス

**有泉** 健全な財政運営について伺う。  
**市長** 歳入については、自主財源の確保のため、実効性のある方策と職員個々のスキルアップに努めていく。また、ふるさと応援寄附金制度の拡充等新たな自主財源の創出に努める。歳出については、事業の必要性や内容等を精査し事業費の圧縮等により歳出の削減に努めていく。

**有泉** 職員の人材育成と適切な定員管理について

**市長** 適切な人事評価を実施するとともに、計画的な人材育成として各種研修への積極的な参加、研修の効果を確認するためのレポート等の提出に取り組む。

**有泉** 公共施設の適正管理について

**市長** 「公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設の現状や課題を踏まえて、長期的な視野で公共施設の適切な配置整備や長寿命化、統廃合等の方向性を定めていく。

## 子どもの貧困対策

**市長** 教育・生活・親の就労など各種支援について対応している。

**有泉** 幼児段階における支援策は

**子育て健康部長** 保育料など、ひとり親の非課税世帯については無料としている。

## 第1次甲斐市総合計画の評価と第2次総合計画の構想は

市長 ▶ 第1次の将来像を引き継ぎ政策・施策に取り組む

創政甲斐クラブ 山本 今朝雄 議員



**山本** これまでの実績の評価と第2次総合計画の方針は。

**市長** 平成20年10月から市政運営に取り組み、第1次総合計画では6つの基本方針を掲げ、住み良いまちづくりを推進して、来たが「緑と活力あふれる生活快適都市」という将来像の実現は、いまだ道半ばであり、第2次総合計画では第1次の検証を基に、新たに5つの柱を基本目標とした目的達成の取り組みを政策分野毎に示し、この基本計画に基づき引き続きまちづくりを進めていく。

**山本** 市民アンケートで満足度が低かった商店街の活性化、公共交通機関や生活道路の整備等の施策に対する取り組みは。

**市長** 第2次総合計画においては基本計画の政策として上位に位置づけを行い、個々の施策の計画を掲げ取り組みを図っていく。

**山本** 甲斐市独自の振興券事業の実施は。

**建設産業部長** 昨年度のプレミアム付商品券事業は、国の補助金で実施した事業でありプレミアム付商品券は地域の商店等の活性化に向けた起爆剤としての一つの手段ではあるが、国の補助金等がない状況において市単独での実施は難しいものと考ええる。

## 創甲斐教育でのキャリア教育推進は。

**教育部長** 職業体験の目的は望ましい勤労観、職業観の育成や学ぶこと、働くことの意味を習得することであり、各中学校で職場体験を行うにあたっては、地元の職場で体験することに意味があると考え、まず学区内の職場を第一優先に考え今後も取り組んでいく。



山県大式書道展の様子

## 「公共施設等総合管理計画」策定の基本方針は。

**市長** 本市の公共施設を取り巻く情勢については、今後、人口減少や少子高齢化などにより公共施設等への需要の変化が予想され、また、厳しい財政状況の中でこれまでと同様な投資的経費を確保することが困難となる見込であるため、本計画策定の基本的な考え方は、未来の子ども達に大きな負担を引き継ぐことなく、将来に渡って健全な財政運営を継続していくことを念頭においている。

**山本** 障がい者基幹相談支援センターのひきこもり相談内容は。

**福祉部長** 相談窓口として各ケースに応じ、相談者のきめ細かい対応に努めており、取り組みとして当事者に寄り添った支援をするため関係機関と密接な連携により支援を行なっている。平成27年度は12名のうち3名、平成28年度は11月までに16名のうち5名の方のひきこもり状態が解消されており今後もきめ細かい相談に努めていく。

**有泉** 「民生委員児童委員協議会」は、子どもの貧困対策にどのように関わられているのか。

**福祉部長** 民生委員児童委員の皆さんには、市など関係機関へ連絡をいただき、地域に住んでいる保護者や子どもが抱える様々な問題を解決するよう活動していただいている。

**有泉** 貧困家庭の生活支援、就労支援の現状は。

**福祉部長** 生活支援については、早期に困窮状態から脱却することを目的に「自立相談支援事業」「住居確保給付金事業」および市独自事業の「パーソナルサポートセンター事業」を行っている。また、就労支援については、ハローワークと連携し「就労自立促進事業」の活用により支援を行っている。

**有泉** 子どもの貧困対策における教育支援については

**教育部長** 就労援助制度については、生活が困窮している世帯には給食費の全額補助をはじめ学用品費、修学旅行などの校外活動費の補助等を

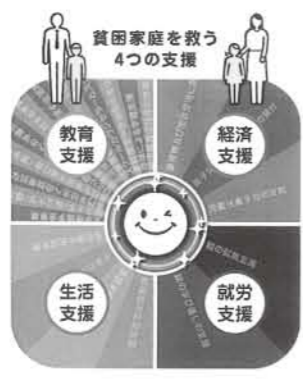


障がい者基幹相談支援センターの電話相談の様子

## 災害から得た教訓を生かした防災対策は。

**市長** 自助、共助、及び公助がうまく連携しないと大きな災害の際には災害への対策が機能しない事が認識され、これらにより本市では自助、共助の重要性を繰り返し市民の皆さんに周知を図り地域防災力の強化に取り組むとともに、積極的な自主防災活動を担う人材育成を目的とした「甲斐市地域防災リーダー」(すでに72名が講習を修了している)の育成に力を入れていく。

行っている。学習支援については、夏休み期間中にすべての児童生徒を対象に「甲斐っ子広域教室」を行っている。奨学金制度については、高校大学での就学が困難な学生を対象とした奨学金貸付制度があります。貸付金額は、高校で月額1万円、大学では月額2万円であり、貸付期間は、高校で3年、大学で4年、無利子で貸付し返済は10年間となっている。



### 市長のこれまでの事業成果と今後の取り組みについて

市長 ▶ 市費抑制の為、国庫補助金の獲得に努めて行く

颯新クラブ 小澤 重則 議員



**小澤** 就任から8年間に  
おいて、建設事業も着実に  
基盤整備が進められ、醸成  
されたまちづくりが展開さ  
れているが、これまでに  
行った事業の全体事業費  
と、このうち関係省庁から  
獲得した国庫補助金、交付  
金ほどのくらいか伺う。

**市長** 平成20年10月から  
市政運営に取り組みをはじ  
め平成21年度予算から平成  
27年度までの7年間に  
60の主要な事業に取り組  
んだところである。全体事  
業費は、約百三十億五千万  
円、このうち約43%にあ  
たる55億6千万円あまりを  
獲得している。

**小澤** 人口減少問題に取  
り組む、甲斐市まち・ひと・  
しごと創生総合戦略に掲げ  
た目標を実行するための取  
り組みについて伺う。

**市長** 市民、市議会と協  
働により、生き甲斐のある  
まちづくりを目指し、甲斐  
市に住むこと、甲斐市民で  
あることを誇りに思えるま  
ちづくりの実現が、人口減  
少を抑制する施策と考えて  
いる。



福祉バス

**福祉バスの利便性の向上は**

**小澤** 市が保有する福祉バスの利用制度の見直しを行う意向があるか伺う。

**生活環境部長** 今後、県内他市の類似バス運行の事例を調査研究し、利用の公平性、利用者の利便性の向上に努めて行く。

### 中央道に架かる跨道橋の安全対策について

市長 ▶ 大型車輛の通行の安全性を確保していく

創政甲斐クラブ 三浦 進吾 議員



**三浦** 発電施設の建設や完成してからの木材、チップ搬入などで多くの大型車輛が通行することが予想されます。建設予定地に通ずる中央道に架かる跨道橋（スポーツ橋）の安全性について。

**市長** 本市では、「甲斐市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、対象とする161橋を、国で定められた規準により平成27年度から順次実施している。スポーツ橋は、昭和54年に竣工し37年が経過、平成30年度の点検を予定しており、今後、大型車輛の通行の安全性を確保していく。

**三浦** 現在の中央道に架かる跨道橋維持管理計画について。

**建設部長** 本市が管理している中央道に架かる跨道橋は、24橋で、平成29年度より、国の社会資本整備総合交付金を活用した点検を順次行う計画となっている。今後、点検結果を踏まえて、補修工事などの計画を策定していく。



移住定住相談会の様子

**移住定住相談会の開催について**

**市長** 地方創生関係事業として、27年6月から事業実施をはじめた甲斐市魅力発信事業である。

**三浦** 東京の中心部だけでなく、西東京、八王子や立川などもPR活動の場として考えたらいかがか。

**企画政策部長** 西東京、八王子市や立川市の居住人口は、東京都の人口の約3割が住むエリアである。山梨県に近い分、居住という点でも、このエリアでのPR活動の実施も検討している。

### 甲斐市水道料金の統一について

市長 ▶ 給水区域の変更のために莫大な費用を捻出することは、難しい状況である。

新政クラブ 赤澤 厚 議員



**赤澤** 旧敷島地区の水道事業と竜王水道局との一元化について

**市長** 料金を統一するためには、甲府市所有の水道施設の清算や新たな水源の確保など、莫大な費用を要することとなる。水道事業を取り巻く財政環境は大口企業の撤退や、節水意識の定着などにより非常に厳しくなっており、給水区域の変更のために莫大な費用を捻出することは、本市の水道事業の経営に支障を来し、難しい状況である。

なお、総務省では、水道事業の一元化について、人口減少による水需要の減少、施設の高齢化による費用の増加等を見据え、事業の広域連携を打ち出している。

水道事業の広域化について、企業団化などの事業統合に限らず、経営の一体化、維持管理業務や総務系の事務処理などの管理の一体化、施設の共同化など様々な方策について、今後の動向について注視しながら検討していきたい。

**耐震管の布設状況**

**総務部長** 地元自治会からの要望を受け、韮崎警察署へ当該箇所への信号機の設置要望を平成24年3月以降、3度行ったところである。今後も引き続き信号機の設置要望を行っていく。

**茅ヶ岳広域農道東部区間の進捗状況について**

**市長** 平成27年度までに茅ヶ岳広域農道から県道敷島竜王線までに延長6,728メートルで共用を開始しており、総延長に対する進捗率は、75.1%、残り、2,241メートルとなっている。

今後、地権者にご理解いただけるよう県と連携した交渉を行い、早期の全線開通に向けて鋭意努力していく。

**赤澤** 広域農道と市道団子笠石線との交差点の信号機の設置について

**総務部長** 地元自治会からの要望を受け、韮崎警察署へ当該箇所への信号機の設置要望を平成24年3月以降、3度行ったところである。今後も引き続き信号機の設置要望を行っていく。

**甲斐市の人口減少対策について伺う。**

**市長** 本市への定住促進および人口ビジョンの人口目標を達成するためには、第2次甲斐市総合計画と整合性を保ち、人口減少対策に焦点をおいた重点的な施策を取りまとめた

「甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基に、市民と議会の協働により、甲斐市に「生まれ、育ち、学び、幸せに生きる」生き甲斐のあるまちづくりを目指し、「甲斐市に住むこと」「甲斐市民であること」を誇りに思えるまちづくりの実現が、定住人口の増加を見込む施策であると考えている。

**赤澤** 定住人口確保の為に「市街化調整区域」の見直しを考えているか。特に赤坂台周辺を市街化区域に編入して、まちづくりを進める考えがあるか。

**建設産業部長** 現在、国ではコンパクトなエリアに都市機能が集約した「コンパクトシティ」のまちづくりを推進していることから、市街化区域の拡張は非常に難しい状況である。こうしたことから、市では、平成26年4月「甲斐市都市計画法第34条第11号の規定に基づく開発行為の許可基準に関する条例」を施行し、市街化調整区域においても一定の条件のもとに個人の住宅や小規模店舗などの建築を可能とする規制緩和を行い、土地利用の可能性を広げたところである。今後、この条例による土地利用の状況や国の動向などを見ながら、必要に応

じ、新たな施策を検討していきたいと考えている。

**敷島地区、双葉地区にある峡北広域の焼却灰について、今だ処理がされていない焼却灰があり、峡北広域とどのような話し合いがなされているか。早い処理が必要と思うが、市の対応は。**

**市長** 旧敷島町の島上条地内及び旧双葉町の葛蒲沢地内の峡北広域の焼却灰については、平成9年の廃棄物処理法改正以前のことであり、違法性はないものであるが、環境保全などの観点から、今後も特に留意すべき事項と認識している。

なお、峡北広域行政事務組合では、周辺環境への影響等を監視するため、浸出水の定期検査を継続して実施している。

また、この水質検査及び埋立灰等の処理などを調査・検討する峡北埋立灰対策委員会が設置されており、今後とも、検査結果の報告などを注視するとともに、構成市と情報交換を行い、課題の解決に向けての継続的検討について、峡北広域行政事務組合に要請していきたいと考えている。

### 遊休農地解消策の今後の展開は

市長 ▶ 甲斐市全般の農業活性化と遊休農地解消の一翼を担う事を目指す



颯新クラブ 清水 正二 議員

**清水** 遊休農地解消策の「赤坂とまと」と「さつまいも」の「焼酎大式」今後の展開は

**市長** 「赤坂とまと」については、今後、収穫量の増収を図り、安定した収益が目標とする支援をしていく。世界的有名なダンサーの田中浪さんが出演している「焼酎大式」のCMがTV放映されるので、小売店にポスター配布、販売促進を図る。今後も甲斐市の名産品として定着するよう「赤坂とまと」と同様PRに努め、甲斐市全般の農業活性化と遊休農地解消の一翼を担う事を目指す。

**(仮称)中部公園セミナーハウス**において、一般の方も利用できるように新たに策定される条例で考えられないか。

**市長** 新たな施設は、都市計画法に基づく施設なので、広く一般の方に利用していただくことを考えている。幅広く利用できるよう検討していく。

**清水** 「ガーデンシティ甲斐」の緑化推進に「バラ」を取り入れたら

**市長** 市の花「さくら」もバラ科でペールリジョセフ・ルドウエテの作品絵画で19世紀のオールドローズが描かれた版画の初版という貴重な作品をいただきたい。市の花「さくら」もバラ科である。バラもなにかしら縁があるものと考えて、市民の声を聞くなかで、花の緑のまちづくりに取り組んでいく。

**清水** 計画の中上八幡公園に消防団が訓練できる駐車場兼用の訓練場所を設けることはできないか

**市長** 国庫補助事業で、過大な設備長時間に渡る占有使用は難しいが、国庫の指導を得て、実施設計において検討課題のひとつと考える。



竜王中部公民館の解体の様子

### 公共施設等の総合管理計画の基本的な方針について伺う。

市長 ▶ 施設管理コストの削減や財源の確保に努め、施設の統廃合や複合化などによる施設総量の削減と適正な配置を柱として今後取り組んでいく。



創政甲斐クラブ 山本 英俊 議員

**山本** 老朽化の著しい松島保育園及び双葉西保育園については、今後どのように整備していくのか。

**市長** 松島保育園については、閉園した敷島幼稚園跡地等に移転建替え事業を進めている。双葉西保育園については、今後、保護者や地域住民の方の意見を聞きながら調査研究を進めていく。

**山本** 老朽化する校舎等の学校施設の整備方針について伺う。

**教育長** 公共施設等総合管理計画策定後、平成29年度から計画策定する「学校施設の長寿命化計画」において、施設の現状を見極め、優先順位を付けた中で国の交付金を有効活用し、順次整備を進めていく。



甲斐市立敷島小学校

### 非常勤職員数の現状からみて定員適性化の見直しの考えは

市長 ▶ 行政課題の発生が生じた場合見直しを含め検討する。



甲斐市民クラブ 滝川 美幸 議員

**滝川** 新聞報道によると、自治体非正規職員数は64万人。全職員の2割に拡大したという。延長保育などの住民サービスや教職員人手不足を解消するために非正規雇用を増やした結果のことだが、甲斐市の現状はどうか。

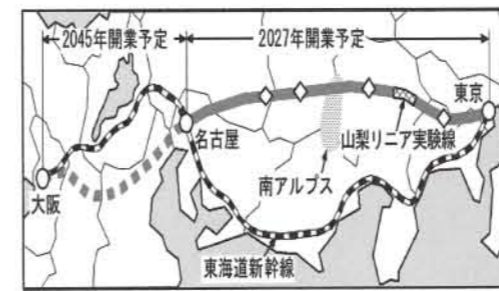
**総務部長** 本市においては延長保育、学童保育の拡充、学校教育支援員の充実等を図るために、関係する非正規職員を増員している。

**滝川** 半日勤務の学校教育支援員の勤務時間の延長についての考えは。

**教育長** 現在39名の学校教育支援員のうち7名が半日勤務である。予算面や学級現場の現状とのバランスを考えたうえで今後優秀な教職員免許取得者の一日勤務、または半日勤務の支援員を任用して参りたいと考える。

**滝川** 来年度の保育園在園児数に対して保育士数は十分に確保できるか。

**市長** 全面的に保育士不足が続いており、本市では



リニア中央新幹線のルート

### 地域活性化のため地域のお祭りに行政サポートを

市長 ▶ 地域のお祭りは地域の力でやることに意義がある



甲斐市民クラブ 横山 洋介 議員

**横山** 本年度のわくわくフェスタの総括と来年度の開催は。

**市長** 本年度の効果検証と方針等を協議しているが、市民の一体感、地域の愛着心、甲斐市の魅力発信や産業発展を目的として来年度以降も開催できればと考えている。

**横山** 地域力を高め地域活性化となるきっかけづくり、古くから地域に根づくお祭りへの行政サポートが必ず必要と考えるがいかがか。

**市長** まちの三大行事は合併以前より行われていたものを行政が集約し補助金を削減しながら行なっている。まち全てのお祭りへのサポートはやりきれない。



原山神社水掛けまつりの様子

**横山** 県下の避難所運用マニュアルの設置率はわずか9.3%だが本市はどうか。

**市長・総務部長** 運用マニュアルは全ての避難所に設置済みではあるが、避難所運営の組織作りを早急に行い、市、自治会、学校等が連携した個々の避難所にあつた運営マニュアルの充実を図る。

**水害時における指定避難場所の検討と進捗状況はどうなっているのか。**

**市長・総務部長** 水害対象地区ごと浸水想定区域外への緊急避難場所とすることを検討している。該当自治会とも協議をし、来年(平成29年)の出水期までには対象地区ごとの緊急避難場所を決定し周知を図る。

### TPP協定の批准を断念し、地域経済の再生を国には十分な論議と説明で、国民的合意を

日本共産党甲斐市議団 松井 豊 議員



**松井** TPP協定は、多国籍企業の利益のために、国民主権と経済主権を犠牲にするもの。TPP関連法案の和訳は一部のみ、交渉経過は「黒塗り」、オバマ大統領が議会承認を断念したのに安倍首相はTPP協定案等を強行しようとしているが市長の考えは。

**市長** 国に対しては、TPPの影響に対する国民の不安を払拭するため、十分な論議と丁寧な説明で国民的合意に万全を期してもらいたい。

**松井** 低額発注や重層下請けなどによる現場労働者の低賃金は、官制ワーキングプア、公共サービスの劣化や事故をまねくため、公契約条例制定が全国的動きになりつつある。「甲斐市公契約条例」を制定する考えは。

**市長** 本市では設計・入札・契約の各段階で、業務の適正化に努めているが、先進自治体のメリット、デメリット制定後の変化などを調査、研究したい。

**松井** TPP承認関連法案 今国会で成立させるべきだ 14.4%  
 今国会にこだわらず慎重審議 69.4%  
 成立させる必要はない 12.6%

共同通信11月26、27日実施

**松井** 住宅リフォーム助成制度（県内9市町村で実施）の経済波及効果は大きい。耐震補強を切り離し、店舗改築等を含めて利用しやすい制度として実施するべき。

**市長** リフォームのみを対象とした制度の創設は考えていない。

**生活弱者（老人、障がい者等）対策と子育て支援の充実を**

**松井** 子どもの6人に1人が貧困状態にある。現行の支援を一歩進めて、就学援助の拡大、入学援助金の年度前支給、給食費の補助拡大、医療費助成の年齢拡大の考えは。

**市長** 県内の市町村の状況を参考に今後の検討課題としたい。

### 甲斐市子育て世代包括支援センターとは

市長 ▶ 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の強化のため健康増進課に開設した。

甲斐市民クラブ 五味 武彦 議員



**五味** 甲斐市版ネウボラ推進協議会の現状と課題は。

**市長** 市内開業産婦人科医師を会長に、山梨大学、このはな産婦人科医師ほか保育園、学校、愛育会など10名で構成され、切れ目のない支援体制の構築推進のため連携を図り、市全体で子育てをサポートする環境作りを目指す。課題は本市の実情に沿った支援体制のため、更なる連携強化が必要。

**五味** 国が産後うつ対策として来年から助成制度を打ち出したが。

**子育て健康部長** 市のネウボラ事業の「産後ケア事業」がより強化されるが、今後の国・県の動向を注視し、検討する。

**五味** 子宮頸がん予防ワクチンの副反応の疑いが県内で6名となった。本市での調査予定は。

**子育て健康部長** 本市での健康被害の報告はない。県は予防ワクチン救済措置を来年度に導入する方向。県の動向に沿って対応する。

**五味** 通学路安全対策で学校要望に対する実施率は。

**教育長** 各学校ごとに点検を実施し、改善箇所・危険箇所の報告に基づき合同点検を行い、可能な安全対策を実施している。昨年度の実施率は約42%である。

**五味** 傷病休暇や休職している教員は。

**教育長** 現在3名、過度な残業が原因で体調を崩さないよう勤務状況の適正化に努める。

**教員の勤務、残業の実態は。**

**教育長** 全国調査では、週平均10時間。ハード・ソフト両面の整備を行い、多忙化の改善を図る。

**教員の勤務、残業の実態は。**

**教育長** 現在3名、過度な残業が原因で体調を崩さないよう勤務状況の適正化に努める。



甲斐市子育て世代包括支援センター

### 前2期で手掛けた事業「赤坂とまと」への投入額は

市長 ▶ 交付金7400万円、市から600万円である

甲斐市民クラブ 金丸 寛 議員



**金丸** 一赤坂とまとの収穫量及び収益、市からの助成はあるのか、これまでの投入額はどのくらいか。

**市長** 大雪の影響で減少した収穫量、売上とも減収前を若干下回るまで回復した。市からの補助金等の交付はしていないが、使用料は全額免除としている。投入額は7千4百万が交付金、市の財源措置は6百万で総額8千万円である。

**金丸** 経営が安定し、軌道に乗るのはいつ頃か。

**建設産業部長** 3、4年後を目途としている。

**金丸** 事業開始から7年、一本立ちするのにあと3、4年は、一般的に長すぎるので、少しでも早く黒字化するよう要望する。

**金丸** 「焼酎大式」の販売目標はどのくらいか。

**建設産業部長** 増産かブランド化を目指すのか検討を要するが、CMの効果を見て方向性を定めた。

**金丸** CMを作ったのだから在庫処分ではなく増産の方向に行くべきだと思つて。



焼酎大式チラス

**来年度の職員体制に関して職員数、一般職非常勤者数はどのくらいか。**

**市長** 29年4月1日の職員数は452人、一般職非常勤職員については、人事異動等の状況により決定する。

**金丸** 管理職課長以上昇任予定者は何人か。

**市長** 6人が定年退職となるので、新たに6人である。

**金丸** 共働きの場合管理職になると一方は退職するという規定、慣習はあるのか。

**市長** それについては、何ら規定していない。

**金丸** その様な場合でも退職は必要なしと理解する。

### コンビニ健診を実施する事で受診率が向上すると考える

市長 ▶ 健診機関とも協議しながら研究していきたい。

公明党 金丸 幸司 議員



**金丸** 平成27年度の基本健診及び特定健診の受診者のうち初めて受診した人の割合と受診者の年齢構成及び健診結果について

**子育て健康部長** 総合健診で基本健診を初めて受診した人は542人で受診者全体の約19%でした。また総合健診で特定健診を初めて受診した人247人で受診者全体の約6%でした。

**金丸** 若い世代の健診受診率向上について今後の取り組みは

**市長** 本市では、若い母親が受診しやすいように総合健診の会場で託児を行い、毎年70名前後の利用があり受診率の向上につながっている。来年度からは総合健診を日曜日に2日間実施する予定である。平日の受診が困難な特に若い年代の受診率が向上するよう取り組んでいく。



甲斐市障害者差別解消法リーフレットPDF (1枚目)

**買い物弱者への新たな取り組み対策について伺う。**

**市長** 今後ニーズ調査を実施する中で、市民ニーズや費用対効果を研究し、高齢者生活の支援サービスの充実に努めていきたいと考えている。

**障がい者差別解消法について職員対応要領の策定、現状について伺う。**

**市長** 障がい理由とする差別の禁止に適切に対応するための必要な事項を定めるものであり、職員対応要領の策定に向け準備を行っているところである。

# 各種団体との意見交換会を開催しました

建設経済常任委員会 11月22日開催

## 甲斐市商工会との意見交換会

建設経済常任委員会では、「甲斐市商工会の現状と今後の取り組み等について」をテーマに意見交換会を行いました。

甲斐市商工会側からは、中村会長、若月副会長、原事務局長、各部会の部長5名と支援課長が出席しました。

会長始め、各部長より現状説明（後継者問題、仕事量の減少等）があり、又今後の対策について、活発な意見交換がなされました。その中で出された意見等を当委



- 員会において協議した結果、12月22日、建設産業部へ次のとおり申し入れを行いました。
1. 庁舎及び竜王駅南北自由通路へ情報発信箇所の設置について
  2. 甲斐市独自の振興券事業の実施について

【委員長 藤原正夫 記】



建設産業部長への申し入れ

厚生環境常任委員会 11月24日開催

## 甲斐市社会福祉協議会との意見交換会

日頃、甲斐市の福祉行政の推進やボランティア活動の支援など進んでいる甲斐市社会福祉協議会と「甲斐市社会福祉協議会の現状と今後の取り組み等について」をテーマに課題や問題点など意見交換会を行いました。

甲斐市社会福祉協議会側からは、河西会長、有泉局長ほか地域福祉係、地域支援係、生活支援係、総務係の担当者が出席しました。各担当者が課題や問題点などを提起、各委員が関連の質問など約1時間



- 30分、活発な意見交換をしました。後日、厚生環境常任委員会では協議を行い、12月9日、福祉部長に次の通り申し入れを行いました。
- 1 正規職員の確保と臨時職員の見直しについて
  - 2 配色サービスの事業内容の見直しについて
  - 3 竜王支所の所長の設置について

【委員長 五味武彦 記】



福祉部長への申し入れ

総務教育常任委員会 11月25日開催

## 甲斐市文化財保護審議会との意見交換会

総務教育常任委員会では、「文化財保護の現状と課題」について甲斐市文化財保護審議会と意見交換会を行いました。

甲斐市内における最近の文化財保護事業としては、大庭遺跡の古墳石室発見や松ノ尾遺跡の発掘調査、山縣神社建造物の有形文化財としての国登録などがあり、中でも中下条の松ノ尾遺跡から発掘された県内最大級の「赤彩壺」は大きなニュースとなりました。

審議会委員には中世考古学、歴史、石仏、信仰遺物、仏像、自然植物などの専門分野があり、それぞれ専門家としての角度から甲斐市の文化財保護事業についてお話を伺うことができました。

その物の価値を正しく、時期を正しく判断するし、子供たちに伝え後世に残すために正しく保存することが最も大切と語っていました。そのためには修復が適切に行なえ保存管理ができ、市民に展示や教育ができる施設の設置が必要不可欠であると要望を受けました。

市内にはその内容がわからない遺物がたくさんあり、その調査には人的にも予算的にも厳しい状況にあるが、研究が進むことで観光

資源としても活用できるようにするとの事でした。

今後の調査が必要なこととしては、釜無川河川内にあり実態調査が進まない「信玄堤」や御獄信仰の拠点である昇仙峡の「羅漢寺」が上げられ、それぞれ南アルプ市や甲府市との連携も必要だということでした。

甲斐市の歴史をもっと市民に理解してもらい、郷土愛に繋がられるよう今後も委員会として文化財保護に協力していきたいと考えます。

【委員長 長谷部集 記】



# 市議会議員が「認知症サポーター」に!

議員研修会を開催しました。(10月19日開催)

認知症サポーターとは、なにか特別なことをする人ではなく、認知症について、正しく理解し、地域や職場などで、認知症の人やその家族の「応援者」となるものです。

市議会では、認知症キャラバンメイトの山田あかね氏をお迎えし、「認知症サポーター養成講座」を受講しました。

講座では、認知症の現状や症状、その原因などの基本的知識を学び、また、認知症になった方への接し方などを教えていただきました。なかでも、講師の「認知症は、他の障害と一緒にあり、恥ずべきことではないし、それで人の価値が変わることはない。人の尊厳を傷つけないことを深く考えるべきである」という言葉は強く印象に残りました。また、全体を通じ、認知症を地域や家族などみんなが理解することの大切さを学ぶことができました。

今後は、認知症サポーターとして、地域などで何ができるかを考えていきたいと思えます。

【松井豊 記】



# 常任委員会で視察研修を実施しました

## 建設経済常任委員会

平成28年11月10日 静岡県 三島市 三島市「ガーデンシティみしま」への取組みについて  
 平成28年11月11日 静岡県 御殿場市 御殿場市「樹空の森」施設概要と取組みについて

### 1日目

三島市の花のまちづくりは、昭和55年「三島花の会」が契機となって始まっている。

地域の方や企業が主体的に実施している地域花壇・企業花壇の推進の強化と、市民・NPO・事業者などと協働により、市民力を生かした花のまちづくりを推進している事は大変参考になりました。



1日目 三島市研修

### 2日目

御殿場市は、霊峰富士の東に位置する緑豊かな高原都市。人口は、約9万人、市内には、東富士演習場や自衛隊関連施設が多く存在し、地域の3分の1を占めています。「富士山樹空の森」は、防衛省の補助を受けた約12万㎡に「野外イベント」や「ふれあいひろば」、子ども達がおもいきり遊べる「冒険の丘」、自衛隊のヘリコプターがある「ヘリコプター広場」など、園内には、約300本の桜が有り、四季を楽しめる花や木を植栽してあります。室内には、「天空シアター」など富士山の誕生から現在に至る歴史を学べる多目的公園です。雄大な公園に感動しました。



2日目 御殿場市研修

### 研修を終えて

いずれの市も、市民と行政が一体となって行うことが大事である事を学んだ。市民の企画、立案から始まり、努力と粘り強い活動が成果を上げた事は、高く評価されるのではないだろうか。本市においても、「緑と活力あふれる生活快適都市」の将来像に向かって、これからのまちづくりに活用していきたい。  
 【委員長 藤原正夫 記】

# 市民と議会の対話集会を開催しました

市議会では、開かれた議会への取り組みとして、もっと市民に身近な議会にしていくため、今年度で5年目となる市民と議会の対話集会を竜王地区と双葉地区で開催しました。

当日は、議会のしくみや議会改革の活動内容を報告し、「まちづくり」をテーマに市民の皆さまから意見や提言などをお伺いしました。

詳しい内容は、次号（議会だより51号）の特集記事でお伝えします。



竜王地区【11月14日(月)中八幡公会堂】



双葉地区【11月26日(土)新田公民館】

# ～視察研修レポート～

## 厚生環境常任委員会

平成28年10月12日 埼玉県 和光市 和光市「わこう版ネウボラ」について  
 平成28年10月13日 東京都 墨田区 墨田区「定期利用保育事業」について

### 1日目

埼玉県和光市和光市の「地域包括ケアシステム」の基本方針は①待機児童解消に向けた子ども子育て支援事業の基盤整備の推進②自立支援を基本とした子育て世代包括支援センター等の総合相談調整機能の充実③妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援実現に向けた医療・保健・予防・福祉の効果的連携④日常生活圏域における子育てを支える独自施策の展開となっている。

テーマの「和光版ネウボラ」は保健、医療、福祉が一体的に提供される地域包括ケアシステムの一環として実施し、相談支援となるケアマネジメントと子育ての切れ目のない支援サービスを確立していた。



1日目 和光市研修

### 研修を終えて

先進的な和光市の福祉行政は全国から注目され、当日の研修も全国各市町村議員との合同研修となった。現在の甲斐市版ネウボラ事業はまだスタートして間もない。各機関を繋げ、立体的な展開などを参考にしたい。又、両国の子育て保育の指定管理制度や方針など、いずれも今後の議会活動に結び付けたい。  
 【委員長 五味武彦 記】

### 2日目

東京都墨田区の両国子育てひろば保育室での現場視察。「定期利用保育」は、生後6ヶ月～2歳児までの児童で、保護者の就労又は公共職業訓練等に通うため一定程度継続的(1ヶ月以上)に保育が可能な児童が対象。月曜～土曜日(日曜日と祝日・年末年始を除く)の子育て保育を実施。定員は31名、年間520名が利用。

「一時預かり保育」は生後6ヶ月から小学校就学前までで保護者が冠婚葬祭等や求職活動、育児負担を軽減したい場合など一時的に保育が必要な児童が対象。定期利用の空きを使い、年間1018名が利用。



2日目 墨田区研修

## 総務教育常任委員会

平成28年11月1日 長野県 飯山市 飯山市「移住・定住の取り組み等」について  
 平成28年11月2日 長野県 安曇野市 安曇野市「東京オリンピック練習場誘致及びホストタウン」について

### 1日目

飯山市は長野県の最北に位置し積雪が4mの豪雪地域です。人口は32,000人から21,000人まで減少し特に生産年齢の減少が深刻な課題です。対策として平成18年に「いいやま住んでみません課」を設置し、東京のふるさと帰郷センターの地域別支援センター第1号に指定され、この程「全国移住ナビ」ローカルホームページ部門で全国第1位となりました。

1泊2日の短期体験や最長半年間の移住体験、住宅事情や求職状況の紹介を行い、担当課を通しての移住実績は計333人でした。



1日目 飯山市研修

### 研修を終えて

飯山市では移住推進の課題やPRの実情など具体的なことを研修する事ができ、現在移住定住の促進に力を注いでいる甲斐市にとって、今後の事業展開に対し大きなヒントとなりました。また安曇野市の研修は東京五輪とは直接関係のない甲斐市ですが、観光振興に役立つものとなりました。  
 【委員長 長谷部集 記】

### 2日目

安曇野市は松本市の北隣に位置し、平成17年に5町村が合併した人口約98,000人の市です。安曇野市は平成32年の東京五輪で海外選手と地域住民の交流を目的とし「ホストタウン」に登録されました。オーストリアのクラムザハが姉妹都市、またカヌー大会を長年開催していることで、オーストリアのカヌー選手を招く計画です。

登録までの経緯や今後の施設整備などについて研修を受け、カヌー会場の現地視察も行いました。



2日目 安曇野市研修

### 政務活動費について

政務活動費は、議会議員が調査・研究・広報のため必要とする経費を地方自治法の規定に基づき市の条例により会派等へ交付されるものです。

交付金額は、議員1人あたり月額1万円を会派の人数に乘じた金額が交付され、精算時に残額が生じた場合は返納することになっています。

なお、使途の透明性を確保するため、報告書へ領収書等の添付が義務付けられています。

甲斐市の政務活動費の月額を状況をお示します。

	1人月額	
	政務活動費	(参考)議員報酬額
甲斐市	10,000	350,000
県内市の支給平均額	15,000	348,923

※都留市、大月市、上野原市は政務活動費の支給なし

# 議会だよりは50号を迎えました



議長 小浦 宗光

平成16年10月に甲斐市議会だより1号を発行してから、約12年の歳月を経て、ここに第50号を発行するにいたりました。本市議会においては、これまで複雑化、多様化する地域の課題や市民の皆さまの期待に応えるため、市当局と慎重に審議を行ってまいりました。それらの議会の活動を広くお知らせするために定例会ごとに市議会だよりを発行してまいりました。以来、読みやすく、わかりやすい紙面を目指し、議会広報常任委員会を中心に試行錯誤を繰り返して、現在の議会だよりの姿があります。まだまだ、議会の取り組みは、市民の皆さまには、理解されていない部分もあると感じておりますが、この50号を契機として議会のあゆみを振り返るとともに、今後、市民の皆さまのご意見をいただきながら紙面の充実に努力してまいります。今後とも、開かれた議会運営を目指して全力で取り組んでまいりますので、なお、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

### 市議会のあゆみ

平成16年9月	甲斐市誕生 議員定数54名(①)
平成16年10月	議会だより1号発行(②)
平成17年11月	議会ホームページ開設
平成18年4月	第1回市議会議員選挙 議員定数28名(③) 初めての代表質問
平成18年9月	政務活動費の交付に関する条例の施行
平成21年2月	議会だよりに初めて市民より公募した写真を掲載(④) 初めて各種団体との意見交換会
平成22年2月	第2回市議会議員選挙 議員定数22名(⑤)
平成22年4月	議会広報常任委員会の設置
平成22年5月	一般質問に対する一問一答方式を導入
平成22年6月	決算審査特別委員会設置
平成22年9月	本会議の模様をインターネット配信の開始 予算審査特別委員会を設置
平成23年3月	初めての市民アンケート調査
平成23年10月	常任委員会等の議事録公開
平成25年1月	第1回〜第3回市民と議会の対話集会 議員個人の賛否結果の公開
平成25年2月	
平成25年3月	
平成25年7月	議長交際費の公開
平成25年9月	議会災害対策本部設置規程制定
平成25年11月	会派活動状況公開
平成26年4月	第4回〜第6回市民と議会の対話集会
平成26年5月	第3回市議会議員選挙 議員定数22名(⑥)
平成26年6月	議長候補者による所信表明
平成26年7月	第2回定例会から開会前に甲州弁ラジオ体操を実施(⑦)
平成26年8月	議会改革特別委員会を設置
平成26年9月	議会活性化に向けて25項目を検討
平成26年10月	議会だよりが奨励賞を獲得
平成26年11月	甲斐市議会防災訓練を実施 議会災害対策本部設置
平成27年1月	始めて決算審査特別委員会による次年度への要望書提出
平成27年9月	第7回市民と議会の対話集会
平成27年10月	初めて自治会地域での第8回市民と議会の対話集会(下今井地区)
平成27年11月	議会ホームページリニューアル
平成28年4月	決算審査特別委員会による次年度への要望書提出(7項目)
平成28年5月	第9回市民と議会の対話集会(竜王地区)
平成28年11月	第10回市民と議会の対話集会(吉沢地区)
平成29年1月	議長車を議会公用車に変更
平成29年1月	バイオマス産業都市構想特別委員会設置
平成29年1月	第11回市民と議会の対話集会(竜王地区)
平成29年1月	第12回市民と議会の対話集会(新田地区)
平成29年1月	議会だより50号発行



「i広報紙」が  
「マチイロ」  
に生まれかわりました

議会だよりを配信中のアプリ「i広報紙」が、「マチイロ」にサービス名を変更し、これに併せてアプリも大幅にリニューアルしました。今回のリニューアルに伴い、以下の機能が新たに追加されました。

- ・新着情報と連動したプッシュ通知
- ・オフライン閲覧

※すでに「i広報紙」をご利用中の端末においては、アップデートによってアプリが入れ替わるようになりますので、新しくダウンロードする必要はありません。

マチイロのはじめ方

「google play」か「AppStore」で「マチイロ」と検索してダウンロード。

「マチイロ」QRコード



議会だよりの  
表紙写真を  
募集しています。



あなたの  
撮った写真で  
表紙を飾って  
みませんか。

送付先 〒400-0192 甲斐市篠原2610番地 甲斐市議会事務局 庶務・議事係 Email / kai-gikai@city.kai.lg.jp

議会を傍聴  
してみませんか！

平成29年  
第1回定例会の日程

※日程等に変更がある場合もあります

※お気軽におこしください。  
傍聴に際し、手話通訳が必要な方は、福祉課へお申しください。  
(電話055-278-1691 FAX055-276-2113)

月	日(曜日)	時間	内容
3	2(木)	午前10時～	本会議(一般質問他)
	3(金)	午前10時～	本会議(一般質問)
	6(月)	午前10時～	本会議(一般質問)
	7(火)	午前・午後	各常任委員会
	8(水)	午前	各常任委員会
	10(金)	午前10時～	本会議(議案採決他)
	14(火)	午前・午後	予算審査特別委員会
	15(水)	午前・午後	予算審査特別委員会
	16(木)	午前・午後	予算審査特別委員会
	17(金)	午前・午後	予算審査特別委員会
21(火)	午前・午後	予算審査特別委員会	
23(木)	午後3時～	本会議(当初予算他採決)	

詳しくは  
市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。  
TEL (055) 278-1673  
ホームページアドレス  
http://www.kai-shigikai.jp/



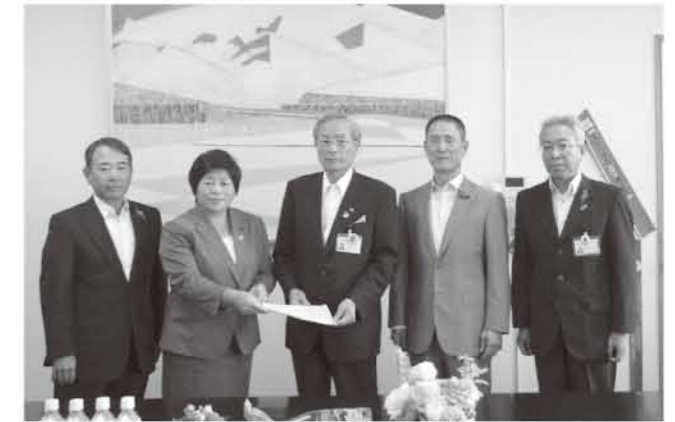
甲斐市議会  
検索  
甲斐市議会  
検索してください

今回、皆様に「議会だより50号」をお届けします。  
今号は、議会だより50号という事で記念特集としてページ数も増やし、甲斐市誕生から今までの市議会のあゆみを掲載させていただきます。  
編集に取り組むにあたり、十一月には株式会社タウン企画常務取締役の細内弘一氏を講師にお招きし、広報誌の基本的な知識について研修いたしました。  
私たち広報委員会の会議では常に一人でも多くの皆様に読んでいただける議会だよりである事を念頭に編集に取り組んでいます。市民の皆様のご意見もぜひお聞かせください。  
〔議会広報常任委員会委員 滝川美幸 記〕

編集後記

平成29年度  
当初予算への要望

決算審査特別委員会では、昨年度に引き続き、議会改革の取り組みとして、決算審査等で出された意見を踏まえ、4事業について新年度予算に反映されるよう10月19日に市へ要望しました。



市長へ要望書を手渡す保坂委員長

1 甲斐市職員定員  
適正化の見直しについて

甲斐市職員定員適正化計画において、組織のスリム化、効率化を推進するには、まず職員の意識改革が最重要であり、職員の研修や研鑽に関する予算の充実を図ること。

特に本市では、保育士の不足問題が子育て支援の大きな障害となっているのではないかと。

人事部門に於てしっかりと予算をつけ、退職者数のみの採用という現状を改善してゆかなければならないと考える。「安心して子育てのできる甲斐市」「甲斐市版ネウボラ事業」の推進実現の為の予算措置に努めることを要望する。

3 認定こども園の  
保護者負担の軽減について

認定こども園の幼稚園部分の保育料は一般幼稚園と比べ、割高となる階層もある。

保護者負担の軽減を図るため、認定こども園の保育料の見直しを要望する。

2 こども医療費無料化の  
拡大について

現状小学生までの医療費は窓口無料化、中学生は償還払いによる無料化となっている。

については、中学生についても医療費窓口無料化とし、また高校生については、償還払いによる医療費無料化を要望する。

4 農道及び水路の  
整備について

4m以下の農道において、舗装化が困難の状況だが、他の方法等を考え整備が図られるよう予算措置に努めること。

また、農業用水路について、現在工事が進められているが、経年劣化による損傷が進み、水漏れや水の取入れ等の困難が生じているため予算を増額計上し、早期の整備を要望する。



申し入れの様子

# 市民の声



## 年金法の成立に 思うこと

望月 優  
[南区]

12月14日、年金法(国民年金法等改定案)が自民党、公明党、日本維新の会の賛成多数で可決されてしまいました。十分な審議が尽くされないまま、多数の力で押し切ることは、国民の声を無視した異常なやり方です。物価が上がっても、賃金が下がった場合は、年金が下がる。これまで物価上昇時には年金額は上げるか、少なくとも据え置きで、減額はしなかった改訂ルールを大転換しようという内容です。現役時代に一生懸命働いて、子供を育てて、老後はのんびりできるものだと思っていたら、消費税や医療・介護の負担増。年金まで減らされたらと思うと不安でいっぱいです。

高齢者にとって年金は命綱です。65歳以上の高齢者のおよそ4割が生活保護基準より低い収入で生活している「老後破産」「過労老人」状態です。子供からの援助もなく孤立する高齢者が増えています。さらに年金の減額は高齢者の購買力を弱めて消費を冷え込ませるため経済もマイナスです。それは現役世代の賃金や雇用にも影響します。

法律が施行されるのは5年後です。下がり続ける年金と増え続ける医療・介護の負担。高齢者の暮らしや健康を脅かす年金カット法を撤廃させ、年金だけで普通に暮らしていける世の中にしたいものです。



## 議会傍聴記

小澤文雄  
[長塚]

甲斐市に住んで十数年になります。先般12月議会の一般質問を傍聴する機会を得て、議場にお伺いしましたが、市民の少なさに大変驚きました。選挙の時に一票を投じて選出した議員諸兄が調査研究して市民のために質問する様子をもっと多くの方に傍聴して欲しいと思いました。

甲斐市子育て世代包括支援センターの問題ですが、今若いお母様たちが相談に乗ってくれる事業だということがどの程度伝わっているのか、もう少し当局の具体的な答弁が欲しかったと思います。始まったばかりの事業との事、今後の推移を見守りたい。

通学時の安全性について、私の地元、長塚では長年の懸案だった中央線第二踏切拡張工事が自治会・議員・市役所の努力により完成し、小学生の通学時の安全性が確保されました。当地区は近年、住宅戸数が増加し、若い子育て世帯も増えています。今後も地区の要望に応えるようお願いいたします。

現在は議会の様子をインターネットで視聴できますが、市民一人一人が議場に足を運んで傍聴することにより、議会も行政もよりよくなるはずです。一度傍聴してはいかがでしょうか。また、休日や夜間議会の開催により、多くの市民が傍聴できる機会を考えてください。投票率アップにもつながると思います。

\*\*\*引越しのお手伝い致します\*\*\*

## 不用品はございませんか？

家電製品、自転車、バイク、金属全般まで  
買取致します

## リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)

☎0551-28-6262

出張回収にも伺います！お気軽にお電話ください。

有  
料  
広  
告

## 農業体験による障がい者の社会参加をめざして NPO法人甲斐志麻の里ファーム

就労移行支援事業所  
就労継続支援 B 型事業所

利用者募集中!

ブドウ(デラ・ピオーネ・甲斐路他)・小梅・枯露柿・原木しいたけ  
ニンニク栽培と販売・古紙回収・トイレトーパー販売など…



住 所 甲斐市島上条1277-1

電話・fax 055-288-1241

携 帯 090-2623-6309

## 議会広報常任委員会

委員長	松 井 豊	委員	五味 武彦
副委員長	保 坂 芳子	委員	清水 正二
委員	滝 川 美幸	委員	山 本 今朝雄

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、  
市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)  
HPアドレス <http://www.kai-shigikai.jp/>